

実験工房 MARANTZ # 7 に第2世代搭載

第2世代シリーズ電源、S40A90UVer、B24A03HVer を使い、往年の名機MARANTZ # 7 を21世紀の最新テクノロジーが世界一のプリに変身

AES 東京コンベンション2005で技術発表した第2世代シリーズ電源を古いアンプに載せかえただけで、欠落していた音声信号すべて再生され、CDをヘッドフォンで聴いたときの音がそのままSPから再生できる。

当初、MARANTZ#7改造記、MJ誌2002年 5月号に掲載、ヒータ電源をB6A06(6A、60V、) +B電源S5A80(5A、800V) SBDに置き換え十分満足をしていたが、2003年11月Hシリーズ、30Aチップ(超低リークSBD)30V品はNECのスーパーコンピューター用に開発、搭載品をオーディオ、ヒーター、フィラメント用ブリッジ品、B60A03Hとして試作、あまりにも周囲の評判がよいので、マランツ#7ヒーター用、+B電源も真空管置き換え様SBDで採用した30AチップS30A80Hを使用し再度改造した、単純にSBD化した時点でもすでに音の変化が著しかったのですが、今回再再度、2世代シリーズ電源の出現で、音声信号の欠落毎サイクル約600 μ sが気になり、どうしても実験してみたかった。

作業内容

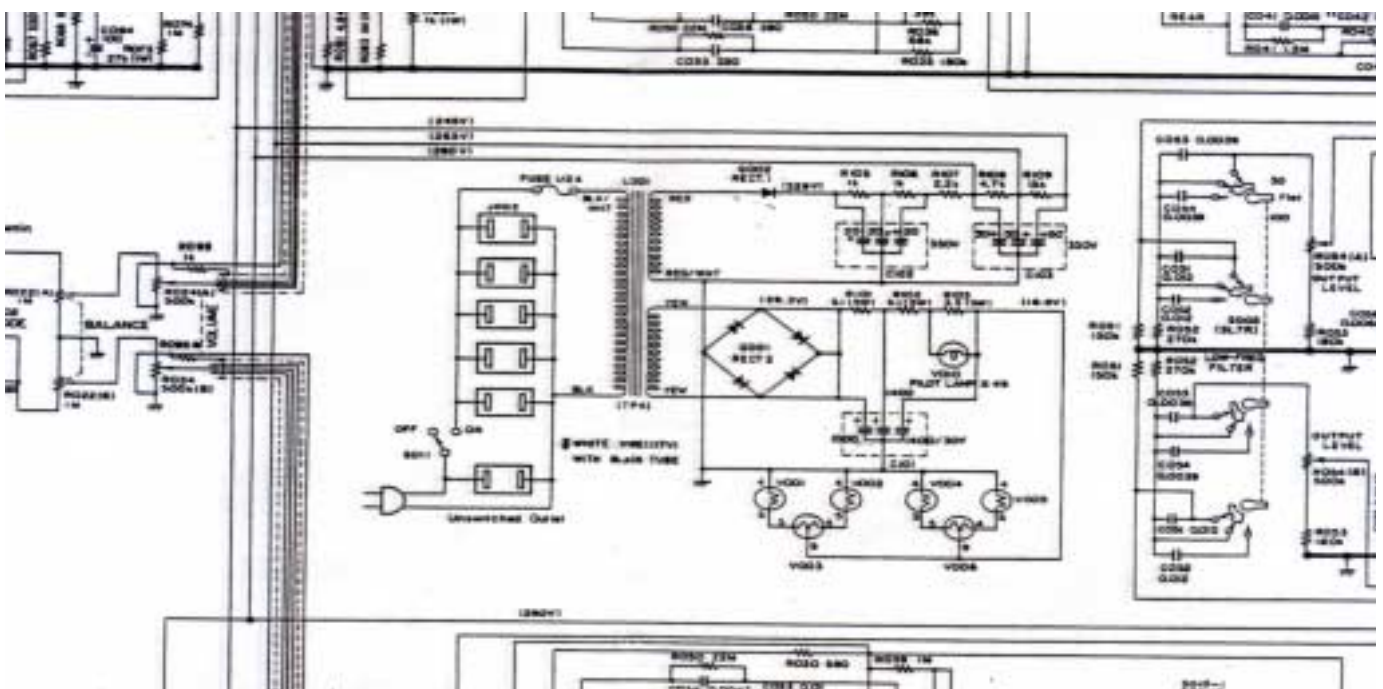
回路図のヒーター整流回路をB60A03Hから第2世代シリーズ電源B24A03HVer に切り替え補助コンデンサーは手持ちのニッケミ35V 470 μ F \times 2をモジュール上部に半田付ける。

B+電源S30A80Hから第2世代シリーズ電源S40A90UVer に切り替え補助コンデンサーは400V 4.7 μ Fフィルムコンを2パラで9.4 μ Fを付けて完成。

試聴

聴きたくて聴きたくて、すぐにSWオン音が出たとたん予想道理ビロードのような吸い込まれる音色情報量が多く、低域がしまり、高域の透明感1ランクも2ランクも上がった感じ、ぜひ

MARANTZ # 7 電源回路図

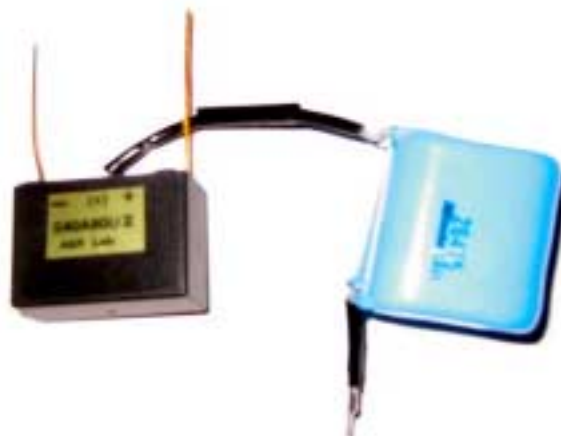


右写真 第2世代シリーズ電源
B24A03HVer に補助コンデンサー、
ニッケミ35V 470 μ F \times 2を半田付け
する。



左写真 シャーシ側面最初につ
いていた、ブリッジの止め
穴に3mmのネジで固定完成。

右写真 第2世代シリーズ電源
S40A90UVer に補助コンデンサー
ニツウコーフィルム、400V 4.7 μ F
フィルムコンを2パラで9.4 μ Fを作
ったところ。



左写真 完成写真動かないよう両面テープで
電界コンデサー上部に固定。